



多彩な行事でにぎわう あやめまつりに4万人

6月20日に開幕した毛越寺のあやめまつりは、7月10日の閉幕までに、4万5000人の観光客や家族連れなどでにぎわいました。

期間中は、シンセサイザー奏者の姫神・星吉紀さんによる奉納演奏や、延年の舞公演、あやめ茶会など多彩な行事が繰り広げられ、色鮮やかに咲いたあやめとともに、訪れた人々を楽しませました。

7月1日には子ども写真会が開かれ、画板や絵の具、画用紙を手にしたチビッコ画家たちが、思い思いにあやめを描いていました。



緒方さんに感謝状贈呈 水かけ神輿美しく表現

東京都で開かれた作品展で都知事賞を受賞した写真「平泉水かけ神輿」を町に寄贈した緒方敏子さん（東京都）に7月14日、高橋町長から感謝状が贈られました。

宵宮での神輿渡御を美しくとらえた緒方さんの作品は、悠久の湯平泉温泉内に展示されています。



署名簿手渡し交通安全宣言 橋架け替え工事関係事業所

国道4号衣川橋架け替え工事で床版工事を担う北上市の小田島建設が7月17日、同社と工事に携わる9事業所の従業員82人が署名した交通安全宣言書を高橋町長に手渡しました。

▷安全速度を必ず守る▷カーブ手前でスピードを落とす など5項目で交通安全を誓いました。



撤去の方向で合意 中尊寺横断歩道橋

中尊寺入り口前の国道4号に架かる歩道橋のあり方を考える検討会が7月11日、役場で開かれました。

地区住民や国、県、町の関係者ら16人が出席し、歩道橋の必要性を検討。歩道橋は設置から約40年が経過し老朽化していることや、景観面で問題視されていることから、撤去する方向で協議していくことが合意されました。一方で、周辺の歩道整備などについても配慮が求められました。

町では検討会での協議結果を基に、国に働き掛けていきます。



友好関係さらに深め合う 中国天台県訪日団が来町

当町と友好交流を続けている中国浙江省天台県の訪日団一行が7月12日、当町を訪れ、町内の小中学校などを視察しました。

訪れたのは天台県人民政府対外友好協会の徐鳴華会長ら政府関係者8人。児童生徒の歓迎を受けた一行は授業風景や学校施設を見て回り、子どもたちの交流促進に期待を寄せました。

天台県は中尊寺と毛越寺の宗派、天台宗発祥の地。教育面で平成12年に当町との交流が始まりました。



建物復元案に助言 平泉遺跡群指導委

平泉遺跡群調査整備指導委員会（委員長・河原純之川村学園女子大教授、委員15人）の平成19年度第1回委員会が7月18日、19日の2日間、役場などで開かれました。

県教委が示した国史跡柳之御所遺跡の建物復元案について、委員からは時代設定などに異論が示されました。このため県教委は、池の復元整備も含めて作業部会でさらに検討し、来年1、2月開催予定の次回委員会で再び示すことにしました。



設置許可基準を町が審査へ 重要公共施設デザイン会議

町重要公共施設デザイン会議（委員長・平野勝也東北大学院准教授、委員9人）の第4回委員会が7月5日、役場で開かれました。

策定中の景観計画に盛り込む景観重要公共施設への占有物の設置許可基準について、審査を景観行政団体の町が実施する、景観に影響が大きい占有物については同会議に諮るとした大枠を、計画に明記することで了承。細かな基準については今後も検討を重ねていくことにしました。